

野洲市資料提供

提供年月日	令和7年11月25日
担当部課	・健康福祉部地域医療政策課 ・共同研究プロジェクトチーム事務局 (市立野洲病院内)
担当者	駒井・今井
連絡先電話番号	077-587-5528

【滋賀医大・野洲市共同研究講座】

特任助教等が市内中学校で骨粗しょう症予防の授業を展開(概要報告)

滋賀医科大学と野洲市が2024年5月から共同設置した「脊椎・関節機能再建学講座」の市民啓発の実証実験として、平田特任助教と市立野洲病院の中村管理栄養士が、野洲北中学校の2年生・全5クラスを対象に、骨粗しょう症予防の授業を家庭科のゲストティーチャーとして展開しました

1. 日時

2025年11月10日（月） 1時間目、4時間目、5時間目

2025年11月13日（木） 5時間目、6時間目

2. タイトルと主旨

- (1) 平田 DR:『骨粗しょう症の話「骨を強くしよう！～未来の自分のために～」』(20分)
〈主旨〉骨の形成においては、中学生から高校生の時期が最も大事であること。
- (2) 中村 RD:『今からこつこつ、骨貯金をしよう！』(20分)
〈主旨〉骨の健康には、「カルシウム」「タンパク質」「ビタミン」など複数の栄養素が必要。「骨の貯金」は今が大事であること。

3. 10日(月)の授業を終えた平田助教の所感

- (1) 授業開始直後にタブレットを用いて生徒にアンケートを取ったところ、「骨粗しょう症」を知らないと答えた生徒が60～70%と、中学生年代では認知度が低いことが意外であった。一方、平日の運動量は平均的に非常に高く、その点良い傾向がうかがえた。
- (2) 授業では、どのクラスの生徒も興味を持って熱心に聞いてくれた。最も伝えたいポイントである「骨の形成においては、中学生から高校生の時期が最も大事である」ことは生徒に十分伝わったという手ごたえを感じた。
- (3) 中学校卒業までは給食があるため栄養のバランスは比較的維持できるが、卒業以降にいかにバランスの良い食事を摂れるかが課題である。
- (4) 大変有意義な実証実験であった。今後、市内の全中学校を対象に数年継続できれば、必要な年代層に啓発を相当浸透させることができるのでないか。

4. 授業風景(参考)

※ 別添のとおり

以上

【滋賀医大・野洲市共同研究講座】特任助教等が市内中学校で骨粗しょう症予防の授業を展開（概要報告）

【参考】授業風景



アンケート回答する様子



特任助教の授業の様子



管理栄養士の授業の様子